

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック 2回戦＞

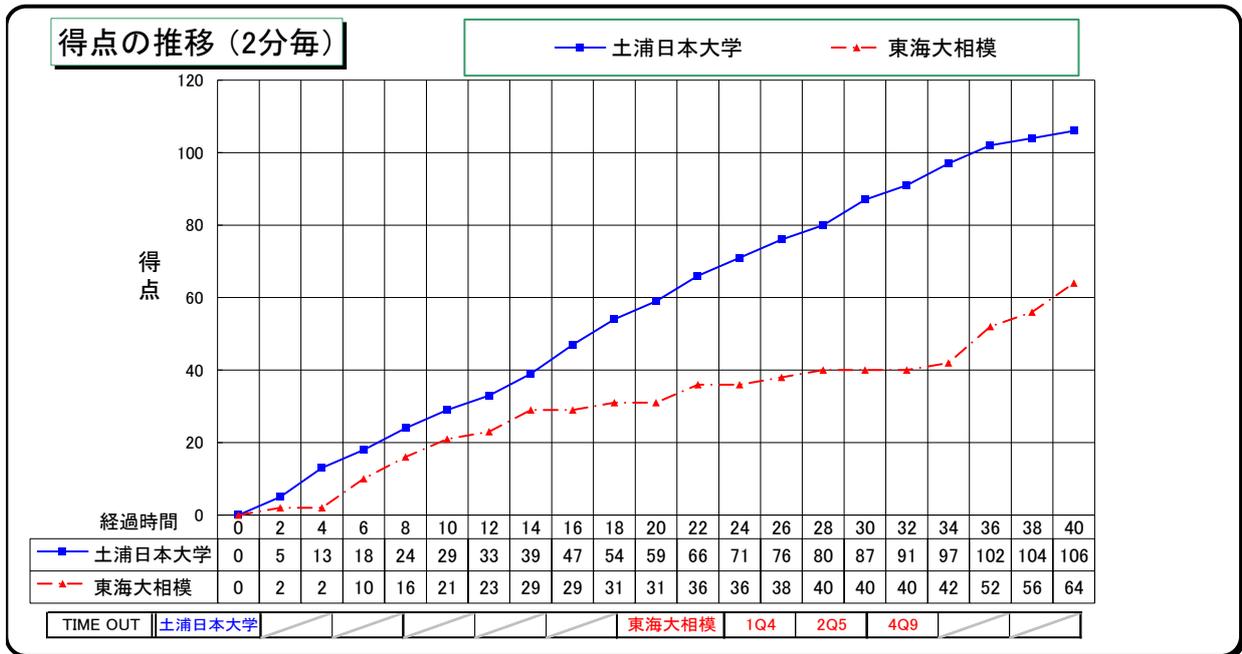
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Bコート	第6試合 16:30～													
<チームA> 土浦日本大学 茨城		106 <table border="0"> <tr> <td>29</td><td>1Q</td><td>21</td></tr> <tr> <td>30</td><td>2Q</td><td>10</td></tr> <tr> <td>28</td><td>3Q</td><td>9</td></tr> <tr> <td>19</td><td>4Q</td><td>24</td></tr> </table>	29	1Q	21	30	2Q	10	28	3Q	9	19	4Q	24	64	<チームB> 東海大相模 神奈川	
29	1Q	21															
30	2Q	10															
28	3Q	9															
19	4Q	24															

主審: 平出 剛 (栃木) 第1副審: 阿久沢 尚夫 (群馬) 第2副審: 大川 尚 (千葉)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	北條 勇吹	11	3	5	1	3			1	1	4	4
◎	5	深澤 桜太	21			10	12	1	1	1	6	17	3
○	6	ディンニャット ティエン	4			2	3				1	2	
○	7	加藤 颯真	7			3	4	1	1			1	
◎	8	渡邊 康生	17	5	10	1	1					3	3
◎	9	大川 亜哩	12	2	6	3	10			1			1
○	10	齋藤 翔太	10			5	7			2	1		4
○	11	遠藤 龍之介								1			4
○	12	平岡 皇太郎	3	1	1					1			3
◎	13	三谷 拓夢	11		1	4	7	3	3		3	2	
○	14	廣木 啓人								2			
○	15	夏目 悠良	2		5	1	2						
○	16	室橋 秀光			1		1					1	
○	17	染谷 真太郎	6			3	6						1
○	18	松尾 好誠	2			1	1				1		
		コーチ 佐藤 豊文											
合計			106	11	29	34	57	5	5	8	14	37	16

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	佐藤 清春	6		2	3	6			4		1	
◎	5	東明 一心	21	5	11	3	9			2			7
◎	6	白銀 雄剛	2		1	1	4			2	1		2
○	7	田中 龍之介	4		1	1	3	2	2	1	1		
◎	8	多田 一甲	4		1	1	9	2	2		1	2	2
◎	9	森野 陽斗	19		1	9	16	1	1	1	1	3	1
	10	芝山 和哉											
	11	和田 悠汰											
	12	齋藤 隆大											
○	13	飯塚 鉄平	2		1	1	5					1	
○	14	高島 舜弥	6		2	3	9					1	
○	15	ジェイコブス 大										2	
	16	中原 翔星											
	17	二本木 新											
	18	平川 恭佑											
		コーチ 原田 政和											
合計			64	5	20	22	61	5	5	10	4	19	3

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 谷中 頌太

土浦日大(以下、土浦)と東海大学付属相模(以下、相模)の対戦。
 第1Q、ディフェンスはともにハーフコートマンツーマン。土浦が#9大川と#5深澤のハイローで先制。相模は積極的にドライブインしていくが、ディフェンスの高さが気になりシュートが入らない。土浦が#4北條が2連続で3P、続いて#8渡邊も3Pを決めて流れを掴む。残り時間6分11秒、13-2とされた段階で相模がタイムアウトを請求。相模の#9森野が連続でドライブインで決めきり、ディフェンスもボールマンにプレッシャーをかけることで速攻のシチュエーションをつくり勢いを盛り返した。土浦は1Q後半にも#9大川、#8渡邊が3Pを決めるが相模も終了間際に#5東明が3Pを決めて対抗し、29-21で第1Q終了。
 第2Q、相模はドライブイン中心のオフェンスを継続。土浦がペイントエリアを堅く守る中、相模はジャンプシュートを選択するが、決めきることができず、得点を伸ばせない。土浦は#5深澤の高さの有利を活かしてゴール下で堅実に得点を重ねた。相模は2-2-1のゾーンプレスのみせるなどディフェンスに変化をつけたが展開を変えるにはいたらず、残り時間5分5秒でタイムアウトを請求。しかし、その後も土浦の勢いはとまらず、内外効率よく得点を伸ばした。59-31で前半終了。
 第3Q、土浦の#13三谷がドライブインで先制。相模はトランジションの展開から#5東明が3Pを沈めた。追いつきたい相模は早いペースでオフェンスを展開したが、土浦がリバウンドを譲らずセカンドチャンスを与えなかったことで得点を伸ばせなかった。土浦は強度の高いディフェンスから走る展開をつくり、点差を広げた。相模は#15ジェイコブスをスクリーナーにするピックアンドロールを選択するなどオフェンスにも変化をつけたが、土浦のディフェンスの強度が落ちず、87-40で第3Q終了。
 第4Q、相模は最後まで足をとめずに戦い、#5東明、#4佐藤の連続得点や#9森野の力強いドライブインもあったが、土浦に傾いたゲームの流れを断ち切ることはできなかった。試合終盤に出場したフレッシュなメンバーも集中してディフェンスを遂行した土浦が106-64で勝利した。